



横浜市立 大曽根小学校 環境講座

持続可能な社会を生きる「食の一生を通して考える、私たちにできること」

真剣に講義を聞いています



ワークシートに
自分の考えを
書いています



先生の
感想

今まで以上に食品ロスへの意識が高まり、その重要性を改めて理解することができました。

2024年、2月15日環境の講座をCサポが担当させていただきました。

本講座のねらい:食の一生を通して食品ロスを考え、その解決のために自分たちにできることを探る。

- ・スライドで世界と日本の生活の違いを知ることから始めた。
- ・食の一生の「上流」では、多くの食材がエネルギーを使って海外から運ばれてくることや、国内産でも季節外れの野菜には多くのエネルギーが使われていることを学んだ。
- ・食の一生の「下流」では、食品ロスについて学んだ。食品ロスは食べ物の無駄だけでなく、何の無駄になると思うか?の問いに「エネルギー」や「お金」、「命」などの答えがあり、子どもたちの真剣さを感じた。食品ロス削減は、気候変動対策にもなることを紹介して、最後に地球のために自分にできることは何かをワークシートに記入。